

豊松協働支援センターだより・“結い”

〜〜 笑顔で暮らせる 持続可能な地域づくり 〜



令和4年3月17日
豊松協働支援
センター発行
第54号

「とよまつ総合センター」が完成…・豊松協働支援センターは玄関に入って左側通路奥の右にあります。

1階東側（玄関入って左奥側）の小会議室へ「居宅介護支援事業所とよまつ」が入ります。



【住所変更】 移転により豊松協働支援センターは4月1日から「神石高原町下豊松741番地」となります。

【閉館告知】 豊松基幹センターは、3月31日をもって閉館となり、使用ができなくなります。

「牛舎で個展開催中」豊松地区有木地域にある赤木敬史さん所有の牛舎画廊を訪ねました。



入口には手書きで「赤木敬史の描いた絵画を牛舎内へ展示しています。ご自由に入って見てください。」と空き箱の蓋に書いた紙が紐からぶら下がっていました。興味深く中に入ると、偶然にも赤木さん87歳が牛の世話をされていたので、お話しを伺いました。

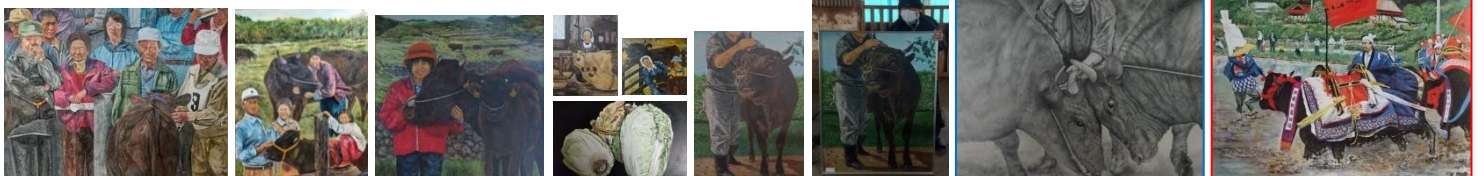


年季の入った木造牛舎の中には、長々と区画割りがされた鉄枠が並び、その一角に黒毛和牛が1頭飼われていました。牛は、以前は15頭くらい飼育していましたが、年月の経過と共に、今ではすっかり高齢となったことに加え、昨年末に飼育中の牛との接触事故による骨折もあり、飼育している5頭の内4頭を手放されました。



あたりを見わたすと、空きスペースを利用したベニアの壁には、牛の世話をしている姿を描いた油絵や闘牛が戦う様子の水墨画等が5作品（作品のサイズ〔S50〕116cm四方や〔F50〕116cm×90cm等々と大きな絵）が並び、その奥には色紙大（色紙・4号・はがき…等）の絵画がずらりと展示されていました。

赤木さんは油木高校で教壇に立っておられましたが、高校時代から美術を学び興味を持っておられ、趣味の絵画を共通とされていた同僚の益村指導教諭の影響もあり、また、小学生の頃から農業に関心があったことから、繁殖牛を基軸とした農業経営を決意し、思い切って高校教員を昭和49年に退職、繁殖牛経営の傍ら、牛や風景などを題材とした絵画の制作に取り組みされました。



これまでに多くの絵画を仕上げ、郡美展や県美展にも出品し、度々入選するなど多くの実績を残されています。中でも、老人福祉センターに展示されている「牛馬供養田植」は'93ふくやま絵画プロジェクト公募「備後を描こう」で特別賞を受賞されました。また、2005年（平成17年）には福山市で個展も開かれております。

赤木さんから皆さんへ

今までに取り組んできた成果をご覧いただきたいとの思いで、1月から毎月絵画の入れ替えをしながら牛舎の個展を開いておりますので、少し田舎ではありますが、是非とも足を運んで楽しんでもらえたらと思います。

牛舎の個展場所は、豊松協働支援センター（0847-84-2226）までお尋ねください。

タイムスリップ (続編) 学校編

村制100周年米見の山に生まれ写真集より

●豊松尋常高等小学校
(旧豊松中学校跡 昭和26年)

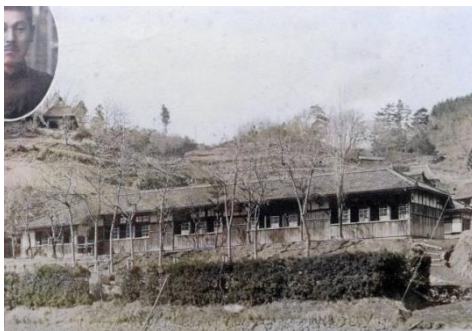
●上豊松小学校
(現 上豊松コミセン前 昭和6年)

●前豊松小学校 (下豊松教場)
(現 野菜集荷場付近 昭和30年頃)



●笹尾尋常小学校
(現 笹尾プラザ付近 昭和10年頃)

●有木尋常小学校
(現 ビレッジハウス仁吾川)



時の流れと共に刻々と形は変化し、次世代へと引き継がれる。先人の思い築いてきたものをしっかりと引き継ぎ伝えていかななくてはならない。私たちの選択が将来を左右していく。私はその一員ということである。



雪かき用「スコップ」を頂きました。立春も過ぎ三月も目前となったというのに、極寒と積雪に困っておられる方もあると思います。お見舞い申し上げます。

先日、壊れた黄色の柄の雪はねスコップの代わりに新しい青い柄のスコップが「使ってください。」と保育所に置かれていました。お名前がないのでお礼を伝えられませんか。

また、旧中学校のグラウンドの除雪もして頂き大変助かりました。この書面を持ってお礼とさせて頂きます。「ありがとうございました。」

子ども達は、毎日、降り積もった雪でそり遊びや雪投げ、雪遊びなど雪を満喫しています。

コロナ禍の中、地域の皆さんに保育所に来てもらい、元気な姿を見て頂くことが出来なく残念に思っています。

もし、子ども達が散歩中の姿を見かけられましたら、声かけや手を振って頂けたらありがたいです。「どこかのおじいちゃんがお話してくれたいよ!!」などと、散歩からの土産話を聞くことが多々あります。

子ども達も地域の皆さんとのふれあいをとても楽しみにしています。

コロナ感染症が終息し、保育所に来て頂き、子ども達の元気な姿を見て一緒に触れあって頂ける日が一日も早く来ます様願っています。2022年2月24日

とよまつ保育所一同



【ちょっといっぷく】
Q 天気予報で時々出てくる「首都圏」と「関東地方」どちらが広い?

A 首都圏です。
関東地方の範囲は東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県の1都6県です。
首都圏は、関東地方に山梨県が加わります。

編集担当より
令和3年度から令和4年度の担当へバトンタッチします。
引き続き“結い”のご愛読をどうぞよろしくお願いたします。

【悩みの相談窓口】
コロナに感染かも
電話 082-513-2567
こころの悩み
電話 082-221-4343
訪問販売、勧誘電話
電話 0847-89-3088
生活困窮など
電話 0847-89-3335
3密を避けよう!



【まだまだできるぞ! 雪遊び!!】

昨年の6月から豊松小学校の1,2年生の空きコマを活用していろいろな自然遊びを行っています

今の時期はとにかく子どもたちは雪遊びに夢中です。とよまつ公園にある芝滑りから雪玉を転がしてみたり、巨大な雪ロールケーキを作ってみたり、今の時期しかできない遊びを楽しんでいます

とよまつ保育所の子どもたちは、勇敢にも鬼退治をやりました。節分のお話を聞いていると太鼓のドンドンとともに2匹の鬼が登場です。慌てながらも豆ボールを投げたり、上手に走って逃げたり、捕まってしまうんです。でも、子ども達は心の中の鬼を退治することが出来ました。給食は、恵方を向いて食べ、おやつは手づくり恵方巻ケーキを静かに食べたそうです。子ども達はすこぶる元気で楽しくやっています。



●豊松小学校サポーター会
4月14日(木)午後1時10分
持参物・シユーズ・マスク

当面の行事(4月)

●申込み・お問い合わせは
豊松協働支援センター 【電話 0847(84)2226】



フェイスブック



ホームページ 見てね♥